

## 工場等判断基準ワーキンググループへの意見書

平成30年1月25日

フリーキャスター 木場 弘子

今年度の工場等判断基準ワーキンググループに参加できず申し訳ございません。ワーキンググループの取りまとめに当たり、以下の2点について意見を申し上げさせていただきます。

## 1. 工場等判断基準の見直しについて

昨年8月に取りまとめられた「省エネルギー小委員会意見」の策定に私も携わらせていただきましたが、その中では、経営層を巻き込んだ工場等判断基準への見直しが重要なテーマの一つとなっております。

現場では非常に細かなエネルギー管理をすることによって徹底したコスト削減が図られてきており、その現場のエネルギー管理の基準として工場等判断基準が重要な役割を果たしていると思います。他方で、これからは現場任せではなく経営層もエネルギー管理に積極的に関与していかなければ、世界的な環境意識の高まりから日本が取り残されていくことになりかねません。

エネルギー管理の基準である工場等判断基準の見直しを通じて、日本においてもさらなる省エネルギーの推進を期待します。

## 2. ベンチマーク制度について

昨年度のホテル業、百貨店業に続き、今年度は、食料品スーパー業、ショッピングセンター業、貸事務所業についても本ワーキンググループでの審議を経て制度導入が了承されたとのことで、ベンチマーク制度を通じて幅広い業種に省エネ意識が広まることは大変意義のあることだと思います。

また、安倍総理からの指示である、来年度中に全業種の7割に拡大する、という目標に向けて、官公庁や大学を中心にその他の業種にベンチマーク制度を拡大するという方向性にも賛成いたします。

さらに、7割を達成した後も残された分野についても省エネ意識を浸透させていくことが今後は重要と考えます。ベンチマーク制度を導入することが難しい業種につきましても、国が定期報告書等の情報を活用して分析を行い、ベンチマークに準ずるような指標を定めることを検討しても良いのではないのでしょうか。今後の検討に加えていただければと思います。

以上、どうぞよろしくお願いいたします。